

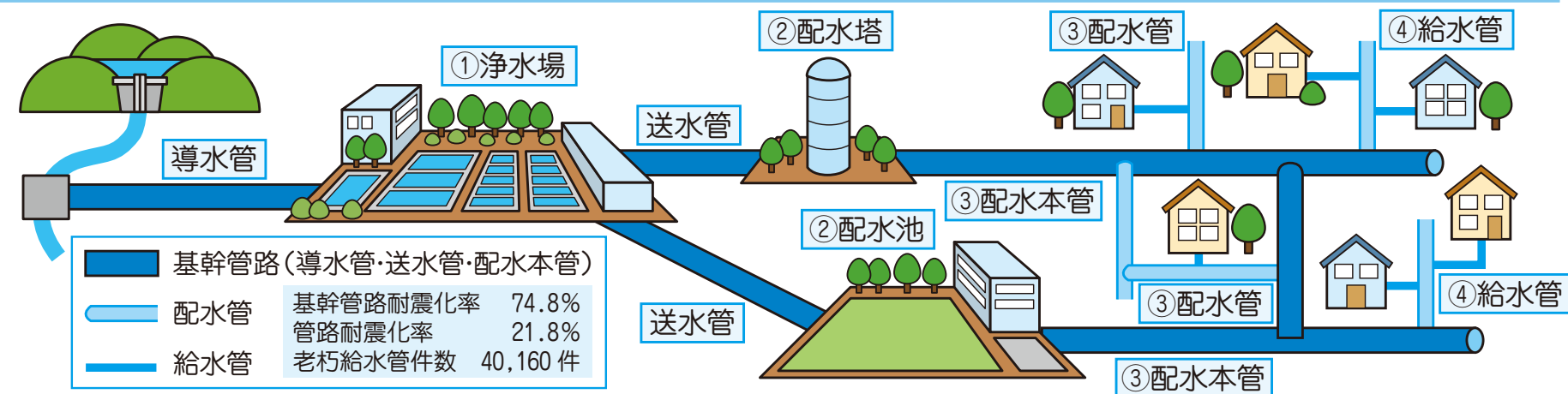
水道・下水道の地震への備え

上下水道局では、アセットマネジメント*の考え方を取り入れて、施設のライフサイクル全体にわたって、効果的かつ効率的な管理運営を行うとともに、計画的に地震への備えを進め、安定的で持続可能な上下水道サービスを提供します。

*アセットマネジメント(資産管理)とは、市民の共有財産を、市民の利益向上のために、長期的視点に立って効果的かつ効率的に管理運営を行う手法

水道システム

「川崎市水道事業の再構築計画」と「水道事業の10ヵ年施設整備計画」を策定し、施設の耐震化に取り組んでいます。



①浄水場 ②配水池

水需要予測に基づく給水能力の見直し
浄水場の統廃合

- 長沢浄水場の各施設の更新・耐震化を実施
太陽光発電システムの導入

長沢浄水場整備工事完成予想図

- 配水池・配水塔の更新・耐震化工事
生田配水池、瀬見台配水池、末吉配水池
黒川配水池、宮崎配水池、百合丘配水池

東日本大震災を踏まえ前倒し

- 鷺沼配水池耐震補強工事

| | |
|----------|----------------|
| 浄水場の耐震化率 | 平成27年度末 100%達成 |
| 配水池の耐震化率 | 平成30年度末 96%達成 |

③配水本管・配水管

- 市立中学校や医療機関等への給水ルートの耐震化

耐震管 耐震管

つり上げても抜けない水道管

ダクタイル鋳鉄管

- 老朽配水管を耐震管へ更新
- 2号配水本管布設工事(鶴見水管橋地下化)

| | |
|-----------------|-----------------|
| 老朽配水管の延長 | 約236km |
| 平成30年度末 老朽配水管解消 | |
| 管路の耐震化率 | 平成30年度末 30.9%達成 |

④給水管

- 老朽給水管の更新
老朽給水管を地震に強く耐久性に優れたステンレス鋼管に更新

道路境界 給水管の水平延長で2mまで

道路 宅地

第1バルブ水道メーター

移設

上下水道局にて給水管を取り替える範囲

施工後

配水管 工事に合わせて宅地内2m以内水道メーターを移設

ステンレス鋼管

※図は一般的な住宅の場合であり、宅地内の形状や状況、給水管の埋設状況及び水道メーターの設置個数により施工範囲は異なります。

| | |
|-----------------|----------|
| 老朽給水管の件数 | 約40,000件 |
| 平成30年度末 老朽給水管解消 | |

応急給水拠点

| | |
|------------------------------------------------|--------------------------------------------------|
| 平成14年度末 市内88箇所 整備完了 半径約1km以内 で給水可能 | 平成25年度末 市内138箇所 整備完了 半径約750m以内 で給水可能 |
|------------------------------------------------|--------------------------------------------------|

東日本大震災を踏まえ

開設作業不要な
新たな拠点の整備

- 市内の6箇所の配水池・配水塔に設置
- 災害時には1池の水を確認し、蛇口より給水

配水池 緊急時確保水

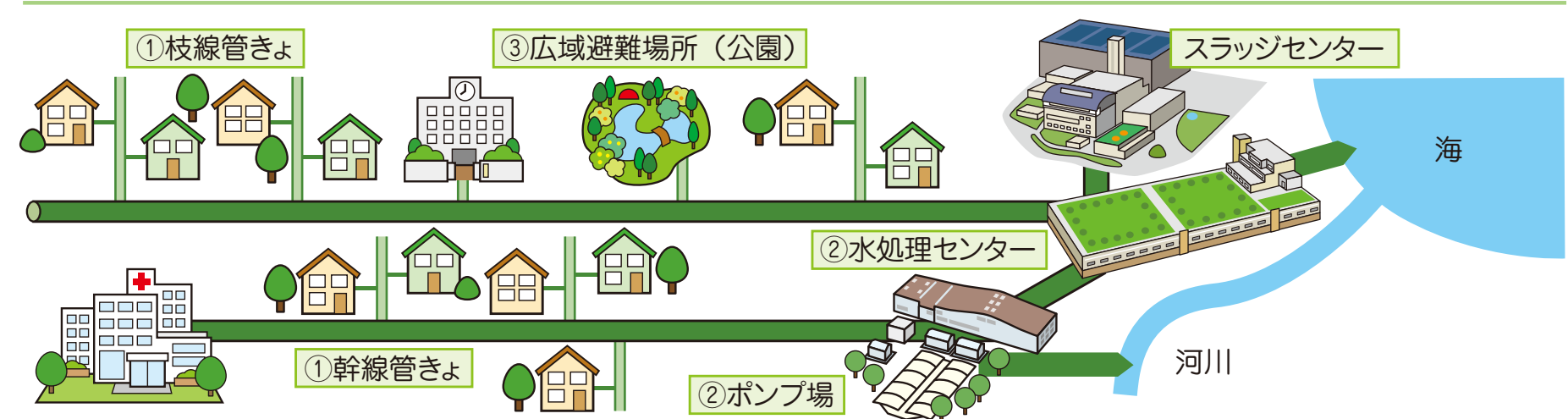
正門(局職員用) 蛇口型拠点用入口

水道料金の軽減を継続します

上下水道局では、計画的に施設の耐震化を進めるとともに、これまで実施してきた行財政改革が計画を上回る効果をあげているため、平成22年4月1日から実施している1か月あたり50円の水道料金の負担軽減を平成28年3月31日まで継続します。

下水道システム

「川崎市下水道事業中期経営計画」に基づき、施設の耐震化に取り組んでいます。



①管きよ

◆老朽管きよの耐震化

地震対策の重点的な取組み地域

麻生 0% 等々力 10.0% 加瀬 0.4%

入江崎 89.6%

全市における耐用年数50年経過管きよの分布(平成23年度末)

- ・全市の管きよ延長 : 3,054 km
- ・耐用年数50年経過管きよ延長 : 119.2 km
- うち入江崎処理区 : 106.8 km

◆重要な管きよの耐震化

市立中学校(地域防災拠点) 医療機関

河川 海

緊急輸送路

再整備

耐震化を優先的に進める管きよ

地域防災拠点等からの管きよや、軌道・河川・緊急輸送路の下の管きよなど、重要な管きよを優先的に耐震化

重点的な取組み地域における重要な管きよの耐震化
平成31年度完了を目標

管きよの耐震化率
平成24年度末 26.4%

老朽化した管きよを取り替える工事

軌道下の管きよなどの補強工事

②水処理センター・ポンプ場

- ◆中央監視室など重要な機能がある構造物の耐震化
- ◆設備機器についても更新にあわせて耐震化
- ◆逆流防止機能、揚水機能、消毒機能の確保に重点化

水処理センター・ポンプ場の耐震化率
平成24年度末 23.7%

③広域避難場所等(災害時トイレ用マンホールの整備)

- ◆災害時に衛生的に使えるマンホールトイレシステムを関係局と連携して整備

平成24年度までに整備完了
大師公園・中原平和公園・富士見公園

平成25年度整備予定
小田公園

ご意見募集します

施設の耐震化や水道料金の負担軽減についてのご意見をお寄せください。はがき、電話、FAX、メールいずれの方法でもけっこうです。たくさんのご意見お待ちしております。あて先 〒210-8577 川崎市上下水道局サービス推進課 ※郵便番号だけで届きます。電話:044-200-3097 FAX:044-200-3996 メールアドレス:80suisin@city.kawasaki.jp